

第5節 勉強していて感じること

1. 勉強していてうれしいとき

【ほとんどの中学生が、「テストの点数が上がったとき」(96.2%)、「難しそうな問題が自分で解けたとき」(88.6%)、「うれしい」と感じている。男子よりも女子のほうが充足感を感じやすい。しかも女子の場合、人間関係的な要素が「うれしさ」の源泉となりやすいようである。】(図2-9)

Q9

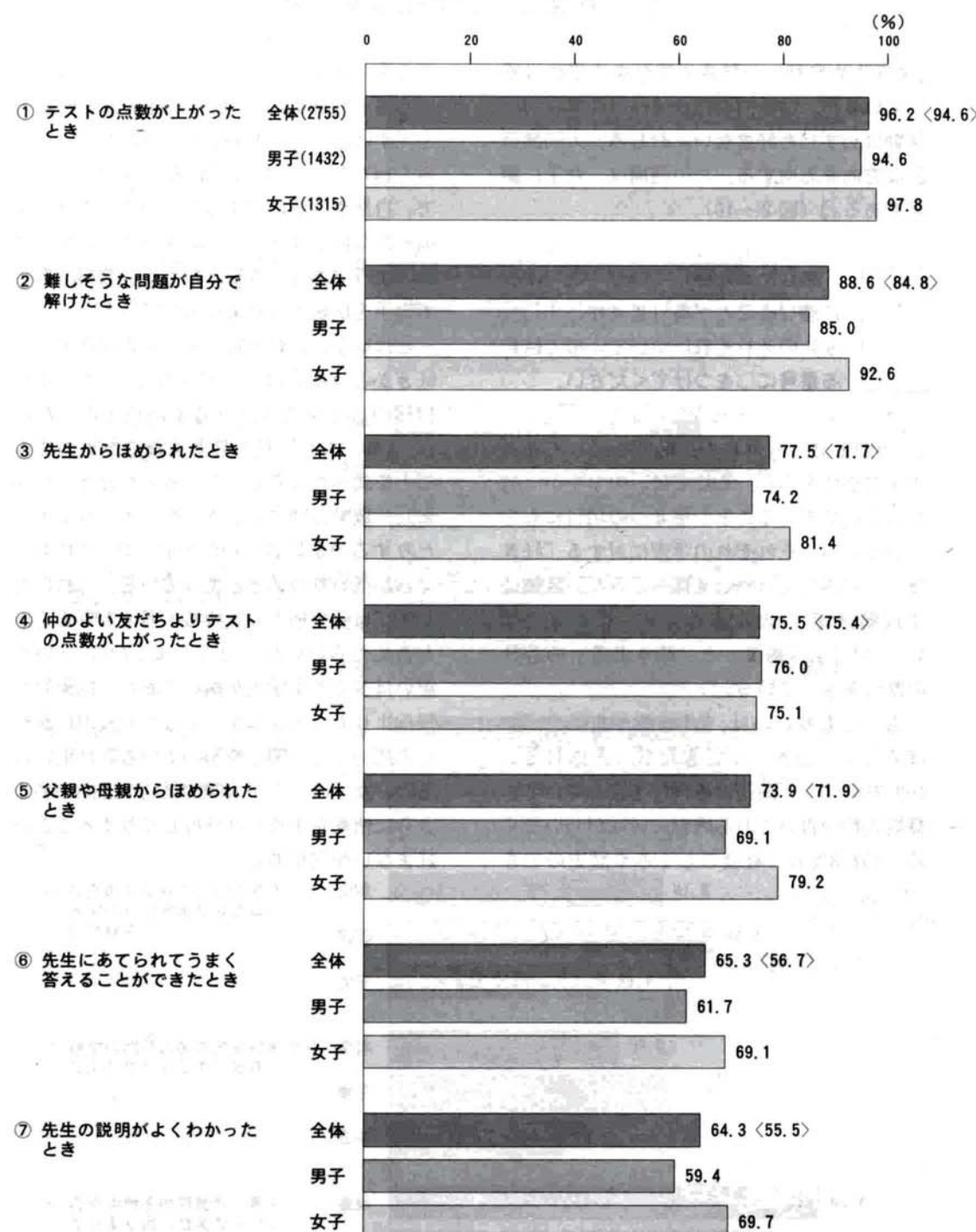
あなたは勉強していて、どんなときに「うれしい」と感じますか。1)~7)のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

中学生は、勉強していてどんなときに「うれしい」と感じるのだろうか。次に、勉強することの内面的な効用(充足感や達成感など)についてみてみよう。ここでは、7つの項目を設定して、それぞれについて4段階評定法(「とてもうれしい」~「ぜんぜんうれしくない」)で回答してもらった。以下、「とてもうれしい」と「まあうれしい」の回答の割合を手がかりに、中学生の学習観・成績観の特徴をたどってみる。

中学生のほとんど全員が「テストの点数が上がったとき」(96.2%)にうれしさを感じる。「難しそうな問題が自分で解けたとき」(88.6%)も大半の中学生が肯定している。先の「努力」が報われたとき、いわばその精神主義が具体的な成果となって現れたとき、彼らの充足感・達成感は最大になるであろう。この2項目よりはいくらか率は落ちるけれども、いずれも7割前後の数値を示している。単にテストの点数などの成果だけではなく、先生や父母との人間関係の中でも中学生は達成感を味わっている。特に、今回は「先生にあてられてうまく答えることができたとき」「先生の説明がよくわかったとき」という2項目で前回よりも数値が高くなっている。中学生にとっての授業の位置づけが、多少変化したのかもしれない。

性別には、女子のほうがほとんどの項目で「うれしい」と感じる生徒が多くなっている。とりわけ、先生や父母との関係の中で好ましい経験をしたとき、喜びはなお大きくなるようである。

図2-9 勉強していてうれしいとき



注1) 数値は「とてもうれしい」と「まあうれしい」の合計。
 注2) < > 内の数値は第1回の結果。
 注3) () 内はサンプル数。

2. 勉強していて感じること

【生き物や自然への驚きや感動を中学生は感じているが、抽象的な概念操作への具体的な活動は必ずしも好まない。むしろ、人間関係的な方向を志向する。この傾向は、女子に顕著である。】(図2-10)

Q7

あなたは勉強していて、次のように感じることはありませんか。1)～9)のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

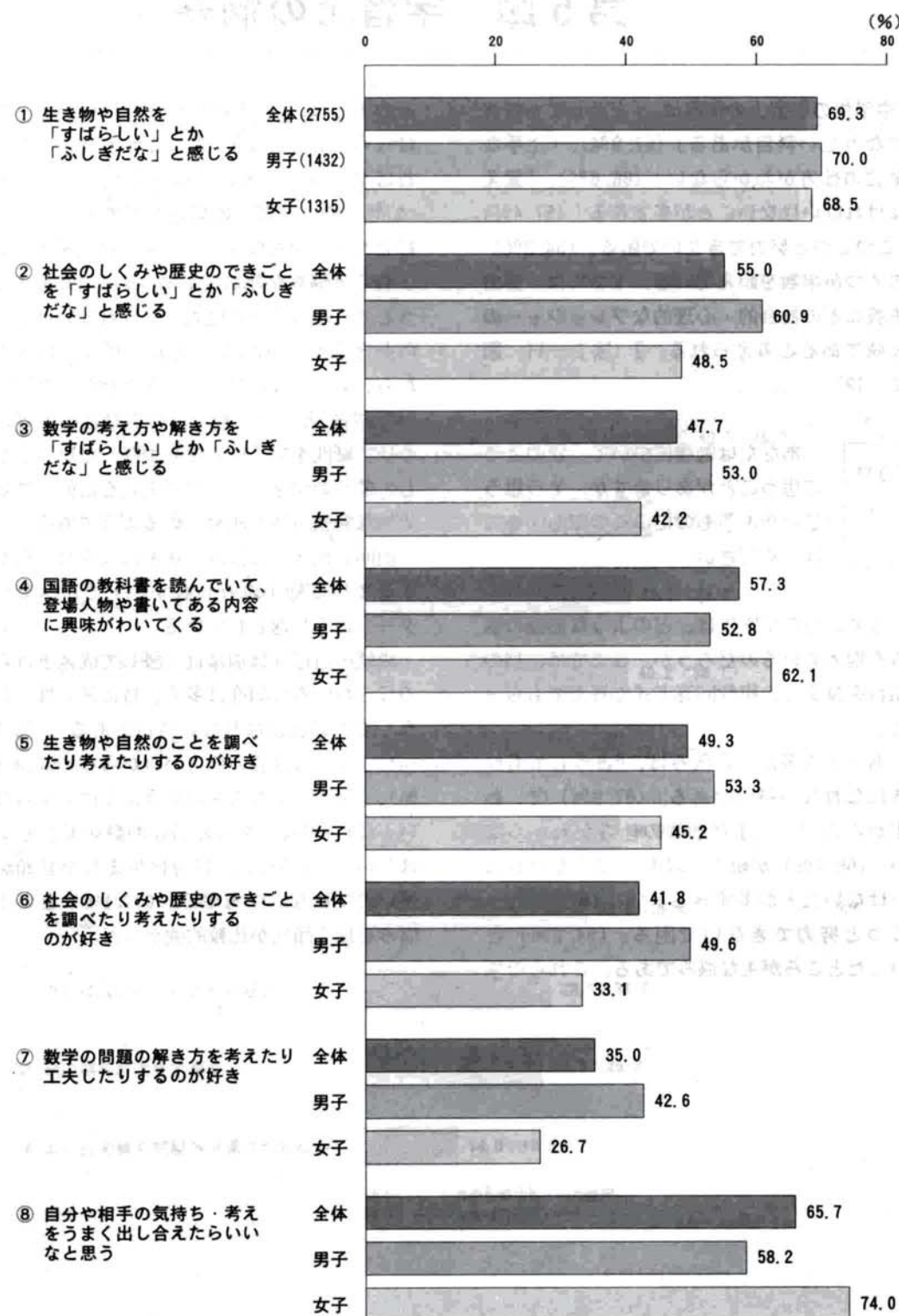
「うれしさ」以外にも、勉強を通じてさまざまな感情を抱く。ここでは、中学生が「勉強していて感じること」を4つの項目にもとづいて調べ、それぞれの学習に対する「好き嫌い」の感情も合わせて探ってみた。数値は4段階評定(「よくある」～「ぜんぜんない」)で「よくある」と「時々ある」の合計の割合を示している。

もっとも多いのは、「生き物や自然を『すばらしい』とか『ふしぎだな』と感じる」(69.3%)で、「国語の教科書を読んでいて、登場人物や書いてある内容に興味をわいてくる」(57.3%)、「社会のしくみや歴史のできごとを『すばらしい』とか『ふしぎだな』と感じる」(55.0%)、「数学の考え方や解き方を『すばらしい』とか『ふしぎだな』と感じる」(47.7%)となつている。中学生にとって、自然や生命に対する驚きや感動のほうが抽象的な概念操作よりも心を揺さぶられる経験のようである。性別にみると、教科の得手不得手を反映する結果を示している。

とはいえ、感動を覚えることと勉強として好きかどうかとは次元が異なる。「生き物や自然のことを調べたり考えたりするのが好き」(49.3%)、「社会のしくみや歴史のできごとを調べたり考えたりするのが好き」(41.8%)、「数学の問題の解き方を考えたり工夫したりするのが好き」(35.0%)はいずれもいくらか低い割合にとどまっている。これに対して「自分や相手の気持ち・考えをうまく出し合えたらいいなと思う」(65.7%)という思いは多くの中学生が抱いており、抽象的な操作よりもコミュニケーションや表現にかかわる能力に強い関心を示している。性別にみると、女子のほうが人間関係的な志向が強く、さらに情報を集めたり分析したりすることを好まない傾向がある。

ごを『すばらしい』とか『ふしぎだな』と感じる」(55.0%)、「数学の考え方や解き方を『すばらしい』とか『ふしぎだな』と感じる」(47.7%)となつている。中学生にとって、自然や生命に対する驚きや感動のほうが抽象的な概念操作よりも心を揺さぶられる経験のようである。性別にみると、教科の得手不得手を反映する結果を示している。

図2-10 勉強していて感じること



注1) 数値は「よくある」と「時々ある」の合計。
注2) ()内はサンプル数。